



2024年8月14日

各 位

会社名 株式会社 ラックランド  
代表者名 代表取締役 野村 裕之  
(コード番号: 9612 東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理本部長 磯部 伸弘  
(TEL: 03-3377-9331 (代表))

2024年12月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年6月14日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2024年12月期第2四半期連結累計期間(中間期)(2024年1月1日~2024年6月30日)の連結業績予想数値と、本日公表いたしました同期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績との差異(2024年1月1日~2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,900	145	145	—	—
実績値(B)	24,646	1,111	1,247	67	6.55
増減額(B-A)	2,746	966	1,102	—	—
増減率(%)	12.5	666.3	760.4	—	—
(ご参考) 前期(2023年12月期) 第2四半期(中間期) 連結実績	23,015	234	361	14	1.44

2. 差異の理由

2024年12月期中間連結会計期間においては、受注が好調であったことを受け、売上高は2024年6月14日付「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した期初連結業績予想を上回る結果となりました。物価上昇のコスト高への対応による売上総利益率の改善が進み、販売費及び一般管理費については予算内で抑制できたことから、営業利益、経常利益についても、期初連結業績予想を上回る結果となりました。

なお、現在のところ、2024年12月期通期の連結業績予想については、期初業績予想の範囲内での着地を見込んでいるため、売上高、営業利益及び経常利益について当該予想数値の変更はありません。

また、当社は、2024年2月14日付「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」に記載のとおり、特別調査委員会による調査を行い、当該調査に係る一連の費用（当該調査に関する自主点検、訂正監査の実施、過年度の有価証券報告書等の修正に係る費用を含みます。）として、2024年12月期中間連結会計期間において1,163百万円を特別損失として計上しました。この一連の費用に係る賠償請求については、2024年4月16日付で設置されたガバナンス委員会からの答申において、同ガバナンス委員会での引き続きの検討事項とする旨の言及がされております。そのため、2024年8月30日開催の第54回定時株主総会の終結後に発足予定の新マネジメント体制による取締役会において、責任追及の方針につき2024年9月末までに決議を行い、2024年末までに責任追及を実施する予定であります。この一連の費用に対する実際の賠償の有無、そして賠償される場合の時期や金額については現時点では未定であるため、2024年12月期通期における親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の当該予想数値を未定としております。

今後の動向に応じ、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上